

心なごむ高原の里 かつらおの復興に向けて



葛尾大尽屋敷跡公園において能舞台の開催



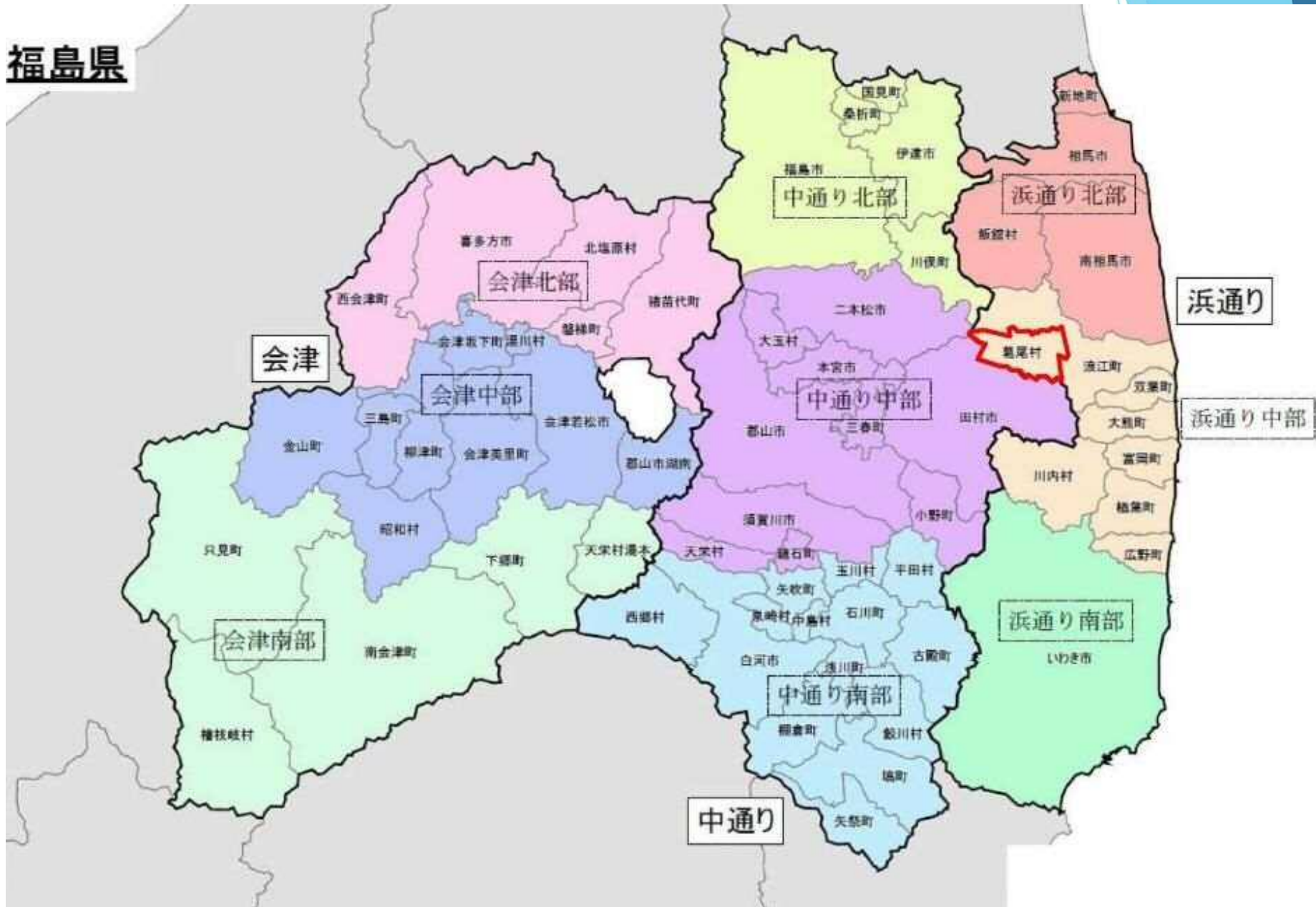
かつらおむら
福島県 双葉郡 葛尾村
Katsurao Village , Futaba , Fukushima , Japan

Ver.20221026

葛尾村の位置

阿武隈山系のほぼ中央部に位置し、総面積の約8割を森林が占める緑豊かな高原の村です。

福島県



葛尾村の全体

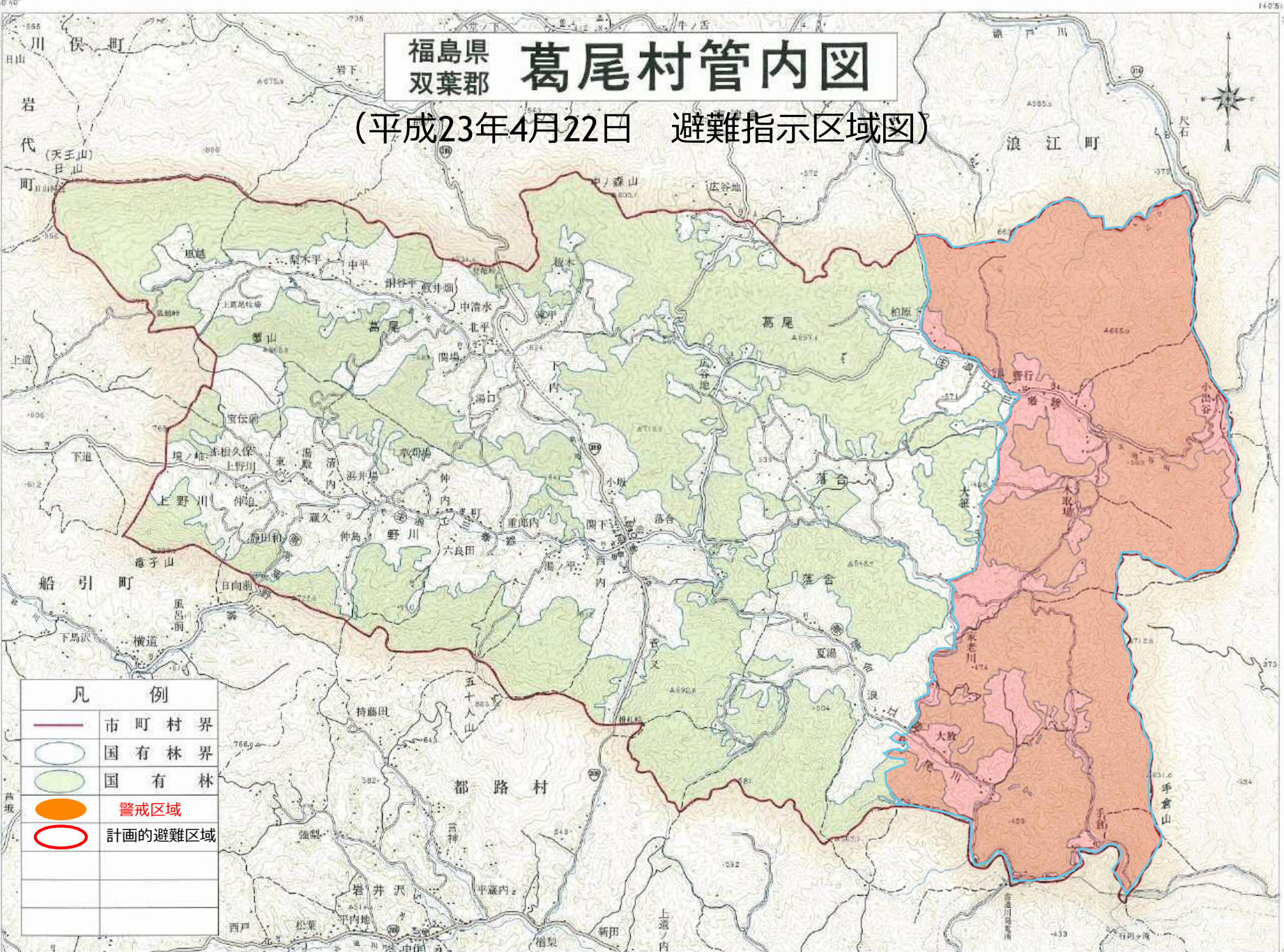


葛尾村の震災対応の状況

- ◆H23年3月11日 東北地方太平洋沖地震発生
東京電力福島第一原子力発電所事故発生 「東日本大震災」と呼称
- ◆H23年3月14日 オフサイトセンターから要員が退避したという情報を入手
村長が避難を決断し、全村民を対象に避難を勧告
福島市（あづま運動公園）に避難
- ◆H23年3月15日～ 会津坂下町に移動 会津地方の旅館等に2次避難
- ◆H23年4月22日 村内に避難指示が出され**計画的避難区域、警戒区域**に指定される
- ◆H23年6月26日～ 三春町の仮設住宅に移動
- ◆H25年3月22日 避難指示区域が線量に応じて3区域に見直される
- ◆H28年6月12日 **帰還困難区域を除く区域の避難指示解除**
- ◆H30年5月11日 帰還困難区域内に「特定復興再生拠点区域復興再生計画」を策定
- ◆R4年6月12日 帰還困難区域内の**「特定復興再生拠点区域」を避難指示解除**

福島県 葛尾村管内図

(平成23年4月22日 避難指示区域図)



凡 例	
	市町村界
	国有林界
	国有林
	警戒区域
	計画の避難区域

福島県双葉郡葛尾村

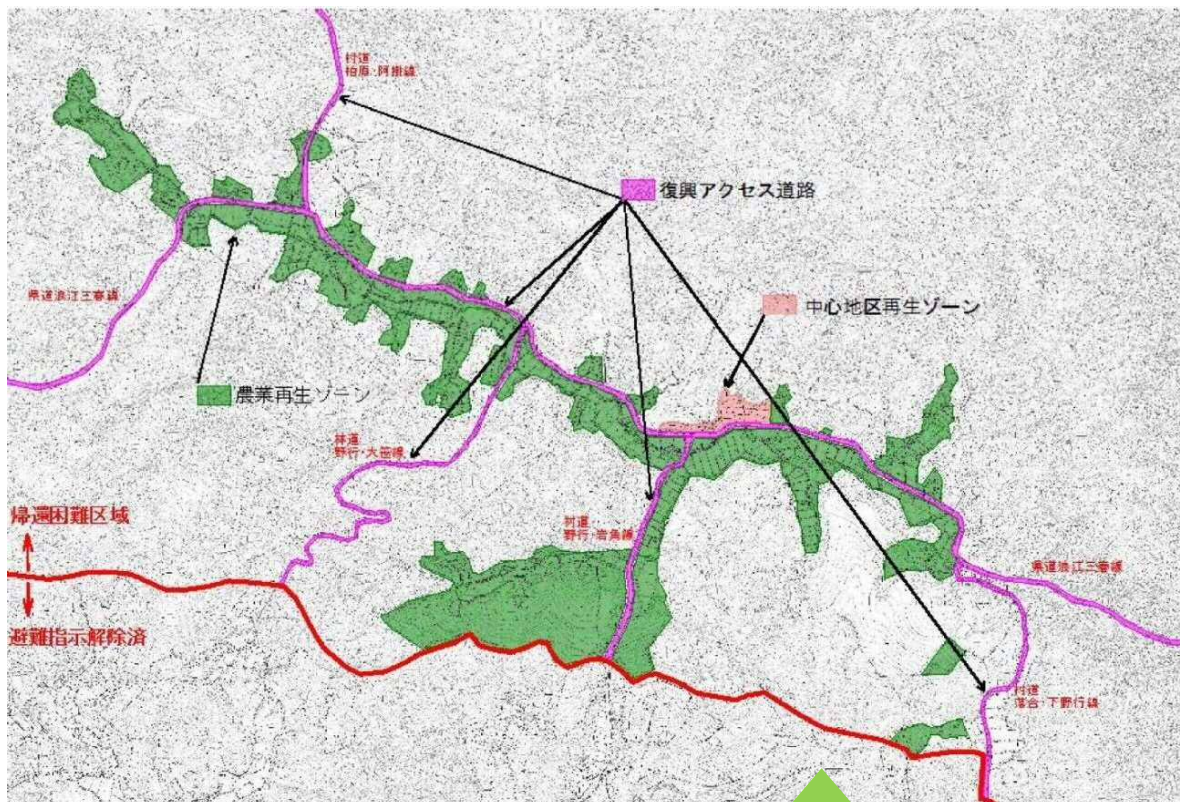
1 : 50,000



帰還困難区域の復興

「特定復興再生拠点区域復興再生計画（H30.5.11策定） 計画の概要

特定復興再生拠点区域の土地利用



計画の期間	令和4年9月末まで
解除目標	令和4年春
居住人口目標	80人



R4.6.12 特定復興再生拠点区域の 避難指示解除

事業内容

○中心地区再生ゾーン

- 集会所など地域の人々の交流拠点を整備し、コミュニティの維持・継続に繋げる。

○農業再生ゾーン

- 農用地等の利用環境を復旧・整備し、震災前の村の中心産業であった農業、畜産の再生を図る。



葛尾村の人口の推移

年月日	世帯数	人口
H23.3.11	477世帯	1,567人
H24.4.1	475世帯	1,520人
H25.4.1	472世帯	1,505人
H26.4.1	459世帯	1,502人
H27.4.1	456世帯	1,484人
H28.4.1	451世帯	1,470人
H28.6.12	－避難指示解除－	
H29.4.1	461世帯	1,460人
H30.4.1	467世帯	1,422人
H30.4.6	－学校再開－	
H31.4.1	478世帯	1,408人
R2.4.1	475世帯	1,387人
R3.4.1	477世帯	1,356人
R4.4.1	479世帯	1,326人

→

→

→

→

→

→

帰村者	転入者	村外避難者
125人		1,335人
227人	61人	1,134人
318人	83人	1,007人
334人	86人	967人
324人	103人	929人
334人	122人	870人

R4.10.1現在

493世帯 1,314人 帰村者332人 転入者156人 帰村率28.7% 居住率35.8%

帰村率 = (帰村者332人) / 従来村民1,158人

居住率 = (帰村者332人+転入者で村内に住居している者135人) / 解除区域住民1,304人

葛尾村復興計画の策定

早期の復旧・復興を目指して、村は「復興計画」とそのアクションプログラムである「再生戦略プラン」を策定しました。

平成24年12月策定 葛尾村復興計画（第1次）

基本方針

- ◆村民の将来にわたっての安全・安心を最優先する
- ◆避難している方への支援を続け、村民全員の帰還をめざす
- ◆村のさらなる発展をめざし、村民一体となった復興をめざす



「新しい葛尾村」の創造

主要施策

①避難生活の支援

葛尾村の復旧

- ②除染等放射線対策
- ③インフラ整備
- ④災害対策
- ⑤子育てやコミュニティ強化

葛尾村の復興・発展

- ⑥人づくり・文化
- ⑦インフラ整備強化、産業育成

支援・復旧期

復興期

葛尾村復興計画の策定

平成26年6月策定 かつらお再生戦略プラン

計画の位置付け

◆かつらお再生戦略プランが描く将来像
(新たな村が目指す復興後の姿)

「葛尾村復興計画（第1次）」の実現に向けたより具体的かつ復興再生の段階的なアクションプログラム

計画の目標期間

- ◆目標年次は、令和3年度までの概ね8年
- ◆帰還開始時期は、平成28年春を想定



エコ・コンパクトビレッジ

～自然と共生し、
一人ひとりの笑顔がみえる、
持続可能なふるさと「かつらお」～

自然との共生、エコ

- 自然の恵みの有効活用
- 資源の循環利用

一人ひとりの笑顔

- 村民全体の絆づくり
- 安心と笑顔の育成

持続可能、コンパクト

- 中心部の魅力強化
- 農業等の元気再生

村民みんなで支え合う豊かな暮らしの再生

- 可能な方から村内に帰還できる環境づくり
- 村外との2地域居住や、村外からの相互応援の受入れ、など



葛尾村の復興の歩み

① 除染（国による直轄事業）

- ◆平成24年度 公共施設の除染完了
- ◆平成25年度 建物、宅地、森林（林縁部から20m以内）の本格除染開始
- ◆平成26年度 農地と道路を除き、99%完了
- ◆平成27年度 宅地、農地、道路の除染完了
- ◆令和2年度 復興再生拠点区域の除染完了



② 除染廃棄物の減容化

- ◆平成27年4月に建設した仮設焼却施設で村内から発生する可燃性除染廃棄物の焼却処理を行った。
平成28年度末までの運用予定であったが、三春町、田村市、川内村の可燃性除染廃棄物（約1.1万トン）の広域処理受入れを行い、令和2年度末まで稼働。
令和3年度に施設解体済。



③ インフラの復旧

- ◆道路のすべての被災箇所が復旧済。（国道5箇所、県道10箇所、村道16箇所、林道11箇所、農道5箇所）
- ◆橋梁を改築し、すべての被災箇所が復旧。
- ◆電気、ガス、水道もすべて復旧済。
- ◆インターネット回線（光ケーブル）の修繕も完了。



葛尾村の復興の歩み (令和4年度当初の状況)

④ 農業の再生

- ◆ 水稲 平成27年度より実証栽培を実施（1.2ha）
※線量検査・・・全量全袋検査の結果、検出限界値未満
平成29年度より、通常栽培が可能となり、全量全袋検査後に出荷可能となった。
41戸58haで栽培（震災前は130ha）
- ◆ 野菜 山菜等、一部を除く出荷制限・摂取制限が解除。
- ◆ 畜産 繁殖牛 16軒221頭・肥育牛 2軒122頭・酪農牛 1軒174頭
養鶏 2軒126千羽・緬羊 3軒25頭・山羊 1軒80頭・採卵鶏 1件82羽を飼育。
- ◆ 花卉 平成30年1月に胡蝶蘭の栽培を開始。
トルコキキョウや小菊栽培も開始



⑤ 商工業の再生

- ◆ 村内での店舗再開
食堂、コンビニ、雑貨商店、建設業、ガソリンスタンド、自動車修理、理容室、美容室等が再開。新規にカフェが開業。
- ◆ 産業団地の整備
村内2箇所に6区画（操業1社、実証試験1社、協定締結2社）



⑥ 医療福祉の再生

- ◆ 福祉サービスの再開
平成28年7月から、デイサービス等事業再開。
- ◆ 医療機関の再開
歯科（H28.7～）
内科診療所（H29.11～）

⑦ 幼稚園、小中学校の再生

- ◆ 平成25年度から三春町（旧要田中学校校舎）で再開。
- ◆ 平成30年度から村内で再開。
（令和4年度 園児6名 児童12名 生徒3名）



今後のむらづくり

SNS等の情報発信



イベントの開催



盆踊り



ツールドかつらお など

産業団地（雇用の場）



知って
もらう

来て
もらう

住んで
もらう



しみちゃんを活用
したPR



大学との連携



住宅・子育て支援

◆移住定住の促進・交流人口の拡大に向けた主な取組

【行政】

○産業団地（湯ノ平・東部）整備による働く場の創出（前掲）

○「みらい子ども助成金」の交付

本村に居住、かつ、住所を有する中学生までの子ども一人につき、1ヶ月当たり2万円支給

○住宅整備（地域活性化住宅、若者定住促進住宅など）

○かつらお感謝祭の開催（R2、R3は中止）

○大学との包括連携協定などの締結

○葛尾大尽屋敷跡公園を活用した観光事業

○どぶろく特区の認定

○葛尾村森林公園「もりもりランド」の再開



かつらお大感謝祭（R1）



大学連携



薪能（葛尾大尽屋敷跡公園にて）

◆移住定住の促進・交流人口の拡大に向けた主な取組

【行政以外】

<むらづくり公社>

○村移住・定住支援センターの運営（村からの委託）

○空き家、空き地バンクの運営

○ツール・ド・かつらお（自転車競技）の開催

<葛力創造舎>

○村の魅力を引き出すアーティスト等を活用した
移住定住の促進（村からの委託）

○村内で実施する交流事業の企画・運営

伝統的な祝言式開催、葛尾村産米を使った日本酒開発

○大学生インターンシップ事業

<その他>

○体験牧場（ヤギ）の開園

○クリームゾンクローバーによるイメージ向上事業



ツール・ド・かつらお



村ゆかりの祝言式



日本酒の贈呈（県知事）



ヤギ牧場（がらがらどん）



クリームゾンクローバー

◆復興に向けた課題

【人口】

- 帰村率が3割で横ばい、高齢化率の上昇（約6割）
- 生業（農業・畜産・企業誘致等）の再生と働く場の確保
→村の存続のためには、人口増加が緊急の課題（帰村率向上、移住・定住及び交流人口の拡大）

【農業】

- 経営の安定化及び規模の拡大
- 高齢化等による担い手不足
- 帰還困難区域の営農再開

【産業】

- 企業立地補助金の継続
- 労働力の確保
- 物流手段の確保
- 従業員の住居の確保

【特定復興再生拠点区域】

- 中心地区再生ゾーンの活用方法検討
- 農地の活用方法の検討
- 拠点外区域の解除に向けた取組

【その他】

- 地域コミュニティの再生
- 公共施設（宿泊施設・キャンプ場）の管理・運営
- 村内の交通手段確保



帰還困難区域試験栽培



復興交流館



もりもりランド



葛尾小富士（竜子山）

ご静聴ありがとうございました！



葛尾村イメージキャラクター
しみちゃん